

令和2年度板橋区入札監視委員会審議結果について

1 審議の概要

令和元年度に板橋区が締結した予定価格130万円を超える237件の工事案件のうち25件を委員会が抽出した。次に各委員が各々5件の入札状況を精査し、その結果を基調として入札参加資格の設定及び指名業者の選定方法等の適否について審議を行った。審議の結果、抽出した案件すべてが適法であると判断し、その旨を令和3年1月14日付で区長へ報告した。

2 委員会開催日

第1回 令和2年9月8日（火）

※第2回開催まで、審議検討資料を基に審議議案（案）を作成

第2回 令和2年11月2日（月）

※第2回開催後、報告書を作成し区に提出

3 委員 5 人

会長 本井克樹（学識経験者）

副会長 長谷川礼（学識経験者）

委員 佐藤正弘（学識経験者）

平松有恒（区民公募委員）

甲斐田洋希（区民公募委員）

4 抽出審議案件一覧

P 2 参照

5 審議結果報告書

P 3～5 参照

令和2年度入札監視委員会 抽出審議案件一覧

担当委員	契約番号	件名	発注方法	受注形態	業種名	契約金額	備考
本井	本-1	区立志村図書館屋上防水改修その他工事	随意契約	単体	防水	39,380,000	NO.不21
	本-2	区立成増ヶ丘小学校通信・情報設備改修工事	随意契約	単体	電気工事	33,242,000	NO.不33契約変更あり
	本-3	板橋区役所本庁舎議員控室間仕切変更工事(緊急工事)	随意契約	単体	建築工事	17,760,600	
	本-4	区立志村坂上地域センター2階系統冷暖房機取替工事	公募型指名競争入札	単体	空調工事	18,984,000	最低制限価格未満あり
	本-5	道路補修工事(3)	条件付き一般競争入札	単体	道路舗装工事	28,270,000	総合評価方式低入札価格調査実施
長谷川	長-1	区立東新保育園調理室部分改修その他工事	指名競争入札	単体	給排水衛生工事	5,940,000	
	長-2	区立榛名林間学園体育館トランプライト廻り補修工事	公募型指名競争入札	単体	建築工事	4,840,000	契約変更あり
	長-3	区立前野小学校分電盤改修工事	公募型指名競争入札	単体	電気工事	19,146,600	最低制限価格未満あり
	長-4	道路補修工事(7)	条件付き一般競争入札	単体	道路舗装工事	70,070,000	総合評価方式低入札価格調査実施
	長-5	区立志村図書館外壁改修その他工事	条件付き一般競争入札	単体	建築工事	93,170,000	総合評価方式契約変更あり
佐藤	佐-1	区立中央図書館改築昇降機設備工事	随意契約	単体	エレベーター	43,285,000	NO.不35 契約変更あり
	佐-2	小豆沢公園地下壕埋戻し工事(緊急工事)	随意契約	単体	一般土木工事	18,150,000	
	佐-3	区立新河岸庭球場人工芝張替工事	公募型指名競争入札	単体	運動場施設	17,867,520	
	佐-4	区立成増小学校プール改修その他工事	公募型指名競争入札	単体	防水	20,570,000	最低制限価格未満あり
	佐-5	区立ハイライブラザ可動間仕壁改修工事	条件付き一般競争入札	単体	建築工事	52,437,000	最低制限価格未満あり
平松	平-1	中台南坂緑地斜面補強工事	随意契約	単体	一般土木工事	44,990,000	NO.不2,不6
	平-2	東板橋公園歩道等整備工事	随意契約	単体	造園	42,405,000	NO.不7,不16,不19
	平-3	道路補修工事(2011)	公募型指名競争入札	単体	道路舗装工事	11,660,000	
	平-4	板橋公園周辺道路整備及び旧大山小跡地暫定整備工事	条件付き一般競争入札	単体	一般土木工事	42,036,500	
	平-5	道路補修工事(2012)	条件付き一般競争入札	単体	道路舗装工事	58,300,000	
甲斐田	甲-1	区立金沢小学校外1校体育館床改修その他工事	随意契約	単体	一般塗装	22,464,000	NO.不22
	甲-2	橋りょう維持工事(3)	指名競争入札	単体	橋りょう塗装	18,563,600	契約変更あり最低制限価格未満あり
	甲-3	三園七曲トンネル照明施設改修工事	指名競争入札	単体	電気工事	43,670,000	最低制限価格未満あり
	甲-4	道路補修工事(2)	条件付き一般競争入札	単体	道路舗装工事	101,750,000	総合評価方式低入札価格調査実施契約変更あり
	甲-5	区立東板橋公園内子ども動物園改築機械設備工事	条件付き一般競争入札	単体	給排水衛生工事	65,395,000	契約変更あり

令和3年1月14日

板橋区長
坂本 健 様

板橋区入札監視委員会
会長 本井 克 樹

審議結果報告書

令和2年度入札監視委員会において、令和元年度工事一覧表から抽出された審議案件を検討した結果について、委員会として報告する。

第1 本年度審議案件の入札結果

- 1 本年度は別紙「抽出審議案件一覧」のとおり、5人の委員がそれぞれ5件の審議案件を担当し、合計25件につき、入札状況を精査した。
- 2 各委員は、板橋区入札監視委員会定例審議（議案）のとおり、担当した案件について意見を提出した。
この意見を基調として、令和2年11月2日の本年度第2回入札監視委員会において討議した結果、当委員会は本年度審議案件の入札結果については、すべて適法になされたものと判断した。

第2 入札制度の運用について討議した事項

当委員会は、前記のとおり、審議案件について適法と判断したが、以下のとおり、予定価格算定の精度向上と検証のプロセスの確立および入札辞退率の改善について討議した。

- 1 予定価格算定の精度向上と検証のプロセスの確立について
 - (1) 入札者の応札金額にかなりの幅があった案件、入札辞退や不参加が多く発生し、かつ、入札者の応札価格も予定価格を大幅に上回っていた案件、および最低制限価格未滿の応札が多数発生した案件が散見されたことから、前年に引き続き、予定価格算定の精度向上を目指すため、上記の発生原因と対策について区の説明を求めた。
 - (2) 区の説明
入札者の応札金額にかなりの幅があった案件については、その原因を

探るべく各事業者にヒアリングしたところ、急を要する工事であったため、入札参加の指名を受けたものの十分な積算日程がとれず図面を読み間違えて高額で応札した事業者があったことが一因であったとの説明があった。

入札者の応札価格が予定価格を大幅に上回っていた案件については、減価を見越して応札していると考えられる、これは、利益を確保できない案件であれば減価交渉が成立しないところ、結果として減価を承諾していることから見て取れるとの説明があった。

最低制限価格未滿の応札が多数発生した案件については、ある案件は、物品の取り換えと同視できる工事であったため複数の事業者の見積額の平均から適正な予定価格と設定したところ有利な流通ルートをもっている事業者の価格と乖離したとの説明、また別の案件では、積算基準に従って算出した足場の架設費用につき、入札者がその費用を圧縮して応札したと考えられるとの説明があった。

(3) 上記(2)の説明を受けての当委員会の要望等

入札者にヒアリングをして、予定価格との乖離の原因を把握した点は、前年度における当委員会の「予定価格との乖離が生じた案件については、その原因を分析したうえで検討したい。」との要望に適うものであり評価できる。

しかし、まだ原因が想定に留まっており事実に基づく分析がなされていないものもあった。

積算は公正になされたものと認めるが、予想外に実勢価格の変動があるなどして積算の補正が必要となることもあるのだから、原因分析を怠ることなく、分析を検証プロセスとして確立させて、その分析結果を受け、虚心坦懐に見直すべき点は見直し、精度の高い予定価格を設定してほしい旨改めて要望した。

2 入札辞退率の改善について

(1) 前年度に引き続き、技術者の配置が困難、施工体制が整わない等の理由によって入札参加者の辞退率が高い案件があった。

(2) 区の説明

これに対し、区からは、あまり魅力的な工事ではなかったということもあるが、発注時期が重複したこともその一因である。辞退率の改善を図るべく、今回、事業者にヒアリングのうえ発注時期を変えてはみたのだが、結果として発注時期が重複した。引き続き、計画課および事業者を交えて検討したうえで、発注時期の分散化に努めるとともに、業界の状況の把握をしたうえで適切な時期を見定めて発注し辞退率の減少に努めていきたいとの説明があった。

なお、併せて昨年度の入札方法別辞退率や業種別不調率の開示もなされた。

(3) 上記(2)の説明を受けての当委員会の要望等

事業者に対するヒアリングなど発注の平準化に向けた取組みの端緒をみることができ評価できる。さらなる取り組みの推進をおこない、入札辞退率の改善を進めてほしい旨要望した。

以 上